

WHAT

イギリス・オックスフォード大学

文教育学部 言語文化学科
英語圏言語文化コース 3年
田辺裕子

オックスフォード大学は、オックスフォードという街全体に広がる大きな大学です。到着初日から道を聞いてまわった私は、優しい人々ばかりだということに感激し、約1年の留学生生活をスタートさせました。High StreetにあるQueen's Collegeが私の所属した寮でした。14世紀に設立された伝統あるカレッジです。

オックスフォード大学は大学の機関とは別に、30余りのカレッジによって成り立っています。これは、寮のようなもので、オックスフォード大学の学生は必ずいずれかのカレッジに所属して生活を送ります。学部とは別にカレッジという場があることで、専攻も様々な仲間達を持つ事ができます。寮と言うと、寝泊まりするだけのように聞こえますが、オックスフォードのカレッジはそうではありません。学生の勉強の軸となる少人数での授業は全てカレッジごとに行われます。同じカレッジに所属する同じ専攻の学生と共に、教授の親身な指導のもと議論を交わしつつ理解を深めて行くスタイルを取っているのがオックスフォード大学の特徴です。

英文学を専攻した私は、できるだけ多くの作品や資料を読みあさり、小論文にまとめるというような自立した勉強のプロセスを2週間に一回のペースで行っていました。ハードな課題の連続でしたが、素晴らしい環境で学ぶ意欲を掻き立てられる毎日でした。オックスフォードにはBodleian Libraryという中心となる大きな図書館があります。それとは別に、各学部の図書館があり、さらにカレッジごとに図書館があります。クイーンズカレッジの図書館は24時間開いており、遅くまで滞在して課題に取り組む学生の姿を目にすることも珍しくありません。カレッジでは、学生が主体となって新入生を歓

迎し、College familyを作ることで少しでも早く馴染んでもらう工夫が成されています。これは、在学生中からCollege motherとfatherを一人一人の新入生に割り当て、入学してからのサポートをしてくれるというものです。私にも、親身になって声をかけてくれる優しい親と兄弟がいて、すれ違う度に挨拶をしてお喋りができる「家族」が初日からいたので、とても安心しました。

このように、オックスフォードでの1年間は、整えられた素晴らしい環境で学問に励んだ1年でした。街のあらゆる場所で様々な学ぶ機会と環境が揃えられているオックスフォードには知的で面白い人々が集まり、街をより一層知的刺激にあふれた場所にしてしています。学部2年生でこうした経験ができたことに感謝し、これから活かせるように一層頑張ろうとモチベーションを得た留学生活でした。

